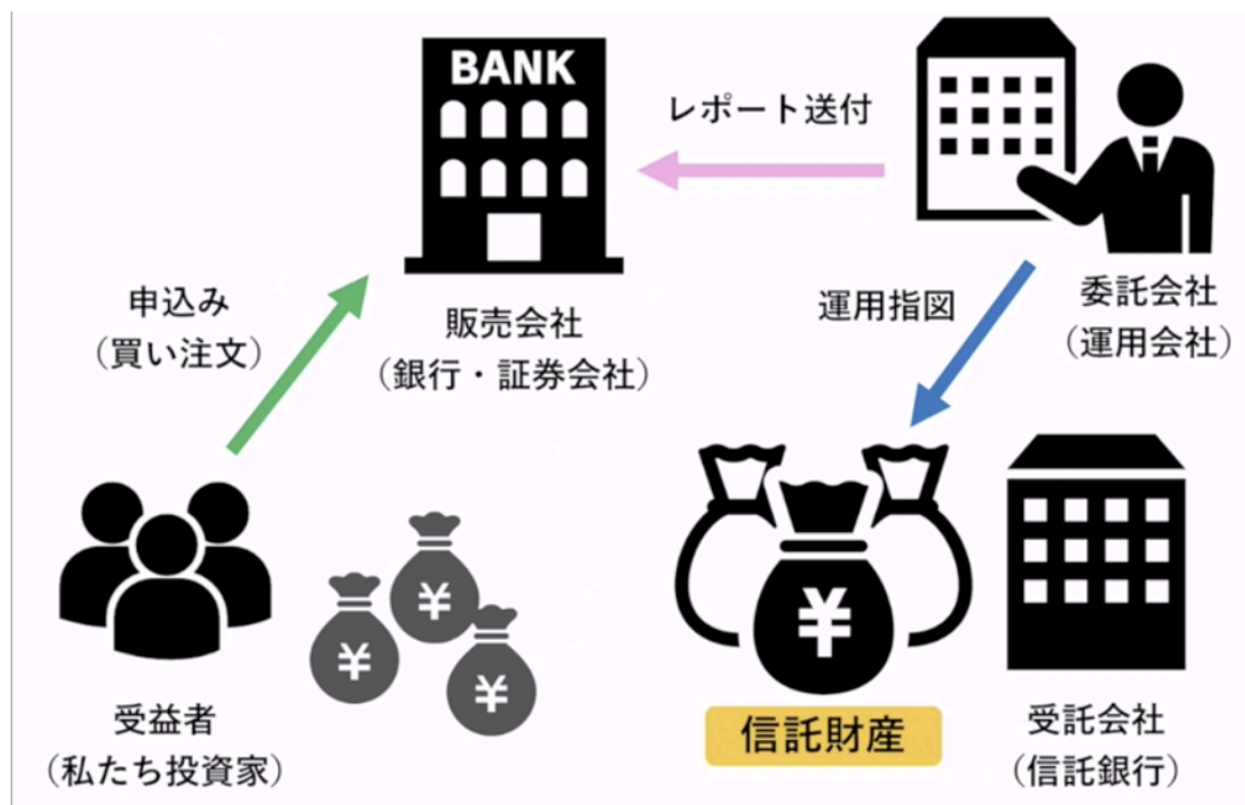


【第3編 資産運用 11-3】投資信託の仕組みと投資スタイル

～一括投資信託 vs. 積立投資、あなたはどっち派？～

(1) 販売者・運用者・管理者は分かれている



(2) 破綻したら預かり資産はどうなるのか？

① 販売会社、運用会社は、信託財産にタッチできないので、影響はない

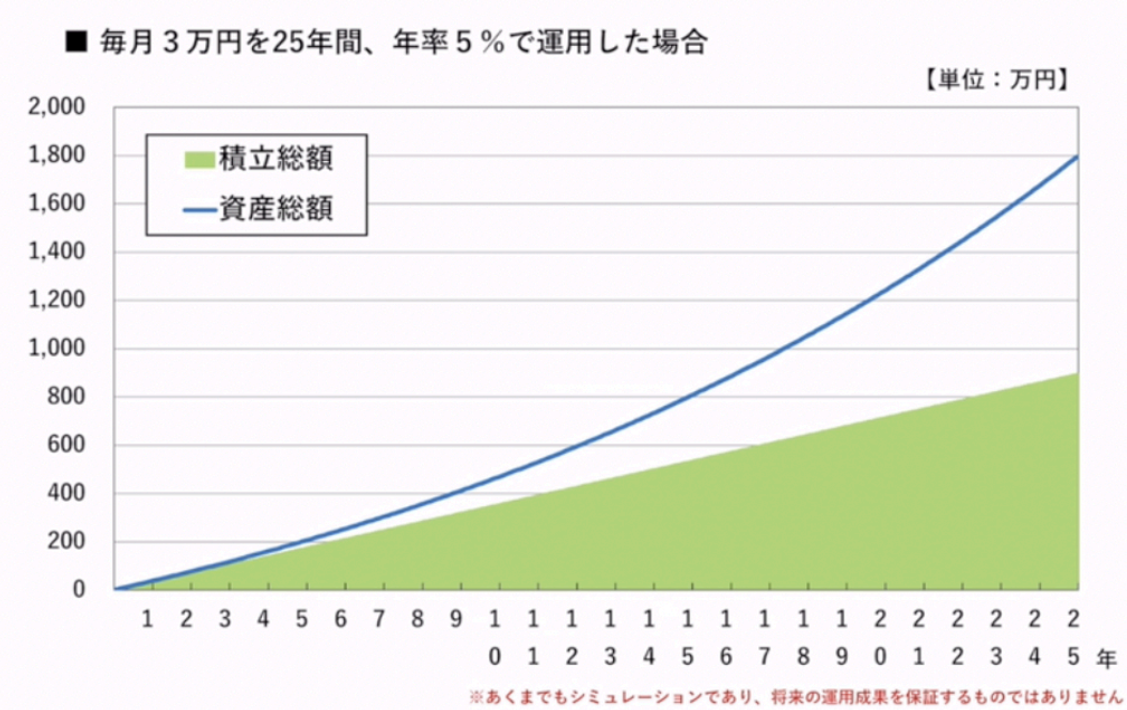
② 受託会社(信託銀行)が破綻しても、分別管理がされているから安心

(3) 一括投資信託と積立投資、どちらの方が儲かるか？

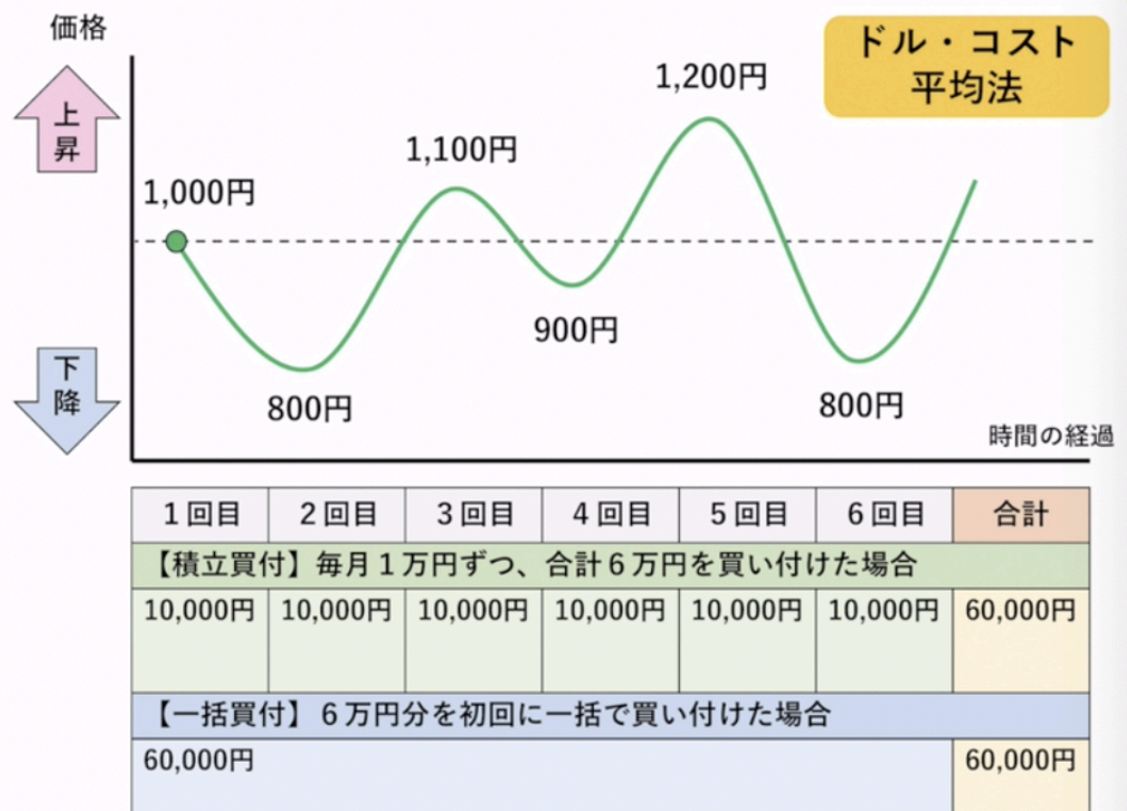
① 一括投資

② 積立投資

(例) 時間をかけてコツコツと資産を形成する



③ドル・コスト平均法



(4)モーニングスターの金融電卓

<https://www.morningstar.co.jp/tools/simulation/index.html>

金融電卓

資産形成のための利回り計算

退職までは資産を形成していく時期となります。今手元にある資金と毎月貯蓄や投資に回せる資金を運用して、目標金額を達成するために必要となる年間の利回りを計算してみましょう。

運用-利回り

運用-積立金額

取崩し-受取期間

取崩し-受取金額

取崩し-利回り

手元にあるまとまったお金を毎月一定の金額で積み立て、一定の期間運用していった場合、目標額を達成するためにはどの位の利回りが必要であるかを計算します。

資金

0万円と

毎月

3万円を

25年間運用して

※50年以下で設定してください。

1800万円とするには

計算する

総

5.1%の運用利回りが必要。

900

7%



資産形成のための利回り計算

退職までは資産を形成していく時期となります。今手元にある資金と毎月貯蓄や投資に回せる資金を運用して、目標金額を達成するために必要となる年間の利回りを計算してみましょう。

運用-利回り 運用-積立金額 取崩し-受取期間 取崩し-受取金額 取崩し-利回り

目標を達成するためには、どれくらいの期間、どれくらいの利回りで、毎月いくらずつ積み立てていく必要があるかを計算します。

初期投資

0 万円で、

期間

10 年間 (50%以下で設定してください)

利回り

9 %で運用して

目標金額

1000 万円貯めるには、

計算する

毎月の積立額

51100 円が必要。